

「見え方」で困っていませんか？

- 黒板や教科書の文字が見えにくい
- 板書に時間がかかる
- 球技が苦手
- 定規や計量カップなどの目盛が読みにくい
- 信号や標識の判別が難しい
- 暗いところでつまずきやすい
- 物にぶつかることがある
- 目を細めたり近づいて見たりする
- まぶしさを感じることが多い

役立つ支援を一緒に考えます！

- 読書を楽しみたい
- 効率的な板書の方法を知りたい
- ビジントレーニングをやってみたい
- まぶしさをやわらげたい
- 音声パソコンの使い方を知りたい
- 点字を覚えたい
- 外出や買い物を楽しみたい
- 見えない、見えにくくても仕事がしたい
- あん摩マッサージ指圧師などの資格を取りたい

松山盲学校では見え方に困難を抱えている方からの相談に応じています。

- 視覚に障がいのある乳幼児に対する支援・相談
- 小中高等学校に在籍する児童生徒や教職員に対する支援・相談
- 中途視覚障がい者やその家族に対する支援・相談
- 相談に関する費用は無料です

相談は盲学校への入学を前提にするものではありません。お気軽に御連絡ください。

【よくある御相談】

Q 黒板や教科書の文字が見えにくいのですが、どうすればいいのでしょうか

A 「弱視レンズ」と呼ばれている単眼鏡やルーペ、見たいものをテレビ画面に拡大して写すことができる「拡大読書器」、一般教科書の文字や絵を拡大した「拡大教科書」などがあります。教育相談では、その方の見え方や学習環境などに応じて、こうした機器や道具の紹介を行ったり、それらを効率的に活用するための練習を行ったりします。



【弱視レンズ】



【拡大読書器】

Q 授業で配布するプリントはどのくらいの文字の大きさがいいのでしょうか

A 見え方についてのアセスメントは視力検査だけでなく、「MNREAD-J(エムエヌリード・ジェイ)」という読書評価法を使って、読書に適切な文字サイズや読書速度などを測定することができます。これらを把握することで、見やすいプリントや教材を作成するとき役に立ちます。また、文字サイズだけでなく、フォントや行間、レイアウト等を工夫することにより、見やすくなります。

Q 病気で視力が落ちてしまっても、パソコンを使うことができますか

A 画面表示を音声に変換したり拡大したりするソフトを用いることによって、パソコンを使うことができます。それにより、ワープロソフトで文字を書いたり、インターネットや電子メールを活用したりできるため、日常生活や仕事において大きな役割を果たすことができます。本校では、成人の方の相談も行っています。仕事や日常生活をする上でお困りの点について、一緒に解決の糸口を見付けたいと思います。

【お問い合わせ】

愛媛県立松山盲学校

〒791-8016

松山市久万ノ台 112 番地

TEL 089-922-3655

FAX 089-922-2893

E-mail matsb-ad@esnet.ed.jp



伊予鉄道高浜線衣山駅下車 800m (徒歩 10分)

伊予鉄道本町線本町六丁目駅下車 1.3km (徒歩 16分)

JR松山駅下車 2.4km (徒歩 30分)